

永寿園とよなか

赤松良子

令和元年 第9号

発行人：所長 大西 智之
 発行：永寿園とよなか
 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町3-2-122
 TEL：06-6840-2211 FAX：06-6840-2214
 E-mail：eijyuentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp
 URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/

施設長よりご挨拶



大西 智之

このたび、4月1日付けで茨木市の施設より異動して参りました大西と申します。永寿園とよなかは、平成25年4月に開設して6年が経過しました。その間、皆様に支えられたおかげで、順調に事業を進めることができました。これまでの施設での取り組みを引き続き実施しながら、今後も皆様に支えていただきながら、より地域から必要とされる施設となるよう、職員一丸となって取り組んでいく所存です。

さて、当法人は昭和46年に設立し、以後大阪府内で福祉事業を運営しておりますが、その中でも豊中市内において当施設の他、複数の福祉事業を運営しております。(豊寿荘・みずほおおぞら等)また、豊中市内の全ての介護予防センターの受託運営をさせて頂いております。それぞれの拠点にある施設が近隣住民と連携し、各拠点の施設も連携しながら、豊中市内においての「福祉拠点」・「拠り所」として機能し、社会に貢献したいと考えています。

今年度の永寿園とよなかの地域への取り組みとして、主に次の二つを実施します。

1. ご利用者の自立支援の充実を図ります。具体的には、ご利用者個々の能力に応じて、施設内外の清掃活動や小学生の登校の見守りや授産品等の販売など、生きがいがづくりの活動の場を増やしていきます。
2. 施設の機能を地域福祉の向上に活用します。具体的には、地域交流スペースを地域に開放し、各種団体による各種サロンや講習会等に活用します。また、地域のニーズ把握に努め、当施設の専門職が地域に出向き、マンパワーや専門知識を提供させていただきます。

年号が「令和」に代わったこの節目の年に、元号の意味する「人々が美しく心寄せ合う中で花が咲く」に相応しい時代となるため、永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで…」を実現し、地域での福祉拠点としての役割が担えるように努めて参ります。

今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成31年度事業計画

運営方針

【地域の財産となるべく施設作りを目指して】

永寿園とよなかでは、地域に必要とされる施設作りを目指し、入居者自らの自立を支援することにより地域の一員として地域・社会へ貢献できるよう取り組んで参ります。

一つ目は入居者が販売員となって店舗を運営する取り組みを。二つ目には入居者が地域の小学生の登下校の見守り活動や施設周辺の清掃活動を実施していきます。

ステップアップ事業

【入居者が残存機能を活かせる福祉機器の導入】

入居者が望む生活を自らの力で営んでいけるよう、補助的な役割を担う介護ロボットやAI搭載の福祉機器について、発掘し導入に向けて検討していきます。

重点項目

【未来を見据えた新たな養護老人ホーム運営の取り組み】

豊中市の指定管理事業者としての役割を自覚し、困難ケースや重度高齢者の受入れを行うことができるよう、職員一人一人の知識・技術のレベルアップを図ります。また、措置市担当者とのコミュニケーションを密に図り、安

心して措置依頼していただけるよう努めます。他市町村については余力を活用して、緊急要援高齢者の受入れ可能な措置市を拡大し本入居へ繋げていきます。

【利用者の自立支援の促進】

養護老人ホームにおいては、入居者一人一人のレベルに応じ自立に向けて様々な取組メニューを提示し、自らの意思で参加して頂くことで身体機能の維持、体力の向上、精神の安定と生きる力を養い、充実した生活が送れるよう支援していきます。

【業務の効率化を図るための機器の活用】

ステップアップ事業と連携を図り、入居者自らが活用して生活に活かせる福祉機器を使用して安心、安全、さらには張りのある生活が営めるよう支援いたします。

地域公益事業

【一人暮らし高齢者への支援や協力】

地元福祉関係機関と協力して、一人暮らし高齢者への昼食の提供など、施設の機能や設備を提供するとともに、常勤医師の健康相談や介護、栄養、医療、保育の専門職員を派遣し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるよう支援していきます。

保育報告

新年度挨拶

子ども達の元気な声と共に、新年度が始まりました。皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

今年度も保育園で過ごす一日一日を大切に、子ども達と一緒に元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。



卒園お別れ会

3月22日は、卒園お別れ会を行いました。たくさんの人を前に緊張する姿もありましたが、お別れのうたを元気よく歌うことが出来ていました。これから羽ばたいていく子供達の活躍を、いつまでも応援したいです。



新しいお友達紹介

4月よりえいじゅ・よなか保育園に新しいお友達が加わりました。初めは、慣れない園生活に涙する時間もありましたが、少しずつ環境に慣れ、にっこりとした可愛い笑顔を見せてくれるようになってきました。これからの子供たちの成長が楽しみです。



新しい職員紹介



保育職員 田原あや

子ども達と楽しく過ごしていきたいと思います。よろしくお願ひします。

特養報告



皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は永寿園とよなかに、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成の時代も終わりを迎え、新たな令和という時代が幕を開けました。永寿園とよなかでのご入居者の生活は時代をまたぐ瞬間も平穏に流れています。

この新しい時代にIT機器や介護ロボットの導入等を視野に入れながら、継続的にユニットケアの推進にも取り組み「その人らしい生活」の実現に向かって、平成という時代に培ってきたサービスの質を向上させながら、より一層皆様に喜んで頂けるサービスの提供を目指してまいります。

特に本年度は地域とのつながり、多世代のつながりを大切にし、ご入居者が外出等を通して、地域の中での生活を感じて頂く事で、ご入居者の生活をより自宅での生活に近づける事を目指します。又、えいじゅ・とよなか保育園との連携を強化し、多世代交流の機会を日常の中に設ける事を目指しています。

今年度も3カ月が過ぎ、特別養護老人ホーム永寿園とよなかでは、地域交流室にてお花見をしながらのティータイムや二ノ切公園でのランチ、ティータイムのおやつを選びにスーパーへの買い物、保育園の園児さんとの体操などさまざまな笑顔が見られ、皆さまお元気に過ごされています。

今年度も特別養護老人ホーム永寿園とよなかをよろしくお願い致します。



山崎 節子 様

100歳を
迎えられました



いづみ1丁目にお住まいの山崎節子様が令和元年5月4日で100歳のお誕生日を迎えられました。ささやかではございますが、ユニットでお誕生日会を開催させて頂いています。

山崎様に長生きの秘訣をお聞きすると「わがまを言わず、親の言うことを良く聞きました。後はなんでも美味しく頂く事が大切だと思います。」とお話して下さいました。

100歳を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。これからも健やかに過ごしていただきますよう、職員一同サポート致します。

昨年度
ワンダフル表彰された
森本 延子 様より一言

この度はワンダフル賞を頂き、ありがとうございます。大変光栄です。

OSJ会場での表彰式は緊張しましたが、良い経験をさせて頂きました。こんな未熟な私が受賞出来たのは、職場の環境と職員の皆様、ユニット職員の同僚の理解と協力のおかげだと思っております。

今後も初心に戻り、入居者様の心に寄り添い、皆様の大切な日々を楽しく、穏やかに過ごして頂けるようお手伝いさせて頂けたらと思います。ありがとうございました。

特養 ゆたか2丁目 古賀 華織

4月から、春日丘荘の茨木市立沢池老人デイサービスセンターより異動になりました、古賀華織と申します。産休・育休を経ての異動になりますので、色々ご迷惑をお掛けするかと思いますが、よろしくお願い致します。

特養 いづみ2丁目 松岡 佳子

2月より永寿園とよなか特養いづみ2丁目に入職致しました松岡です。これまで他法人で4年間介護職として勤めて参りましたが、まだまだ未熟で全てが勉強の毎日です。

これからこの永寿園とよなかで経験を積ませて頂き、皆様に喜んで頂ける職員に成長出来るよう、日々研鑽を重ねて行きたいと思っております。まだまだ行き届かないところが多く先輩職員の方々に助けて頂くことばかりですがどうぞよろしくお願い致します。

養護報告

前年度より一人ひとりの自立支援に向けて委員会を立ち上げ担当職員を決めて話し合いを行い、できる事は何かを考えて来ました。

〈自立支援とは〉

社会復帰の促進及び自立のために必要な援助等を行う事で、ご入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように目指す取り組みです。

今年に入り、まずはパン販売で試行期間を設け特定のご入居者が職員に向けて販売をしています。職員の見守りの元、準備から販売、会計、片付け、次回の品物選びまでの全てをご入居者が行っています。パン屋の名前もご入居者が決めています。

今年度からはボランティアを募集し、カラオケ操作のお手伝いや加湿器清掃のお手伝い、施設の掃除のお手伝いなどを行って頂いてます。初めはなかなか、参加する方が居らず職員が声をかけ参加して頂くのが現状ですが徐々に自ら進んで参加していただける様に考え支援していきます。



今年度の目標

個々が生きがいを持って生活ができる環境作りに取り組んでいきます。



医 務 だ よ り

皆さま、一人一人健康に気を配りながら、毎日を過ごして頂けていることと思います。

季節を通し過ごしやすい時期も少なくなっております。高温多湿の梅雨が明けて、ガラガラ太陽が照付ける猛暑がやってきました。高齢者の方は体温調節機能が弱くなり、脱水や熱中症のリスクが高まる傾向にあります。

日々の生活で、規則正しい食事・こまめな水分補給・エアコンによる暑さ対策も重要になります。また、食べ物など保管方法にも注意して頂き、これからも体調崩される事なく元気に、次々予定されている行事には、是非参加して楽しんで頂きたいと思っております。皆さまが安心して生活が送れますよう健康面だけにとらわれず支援させていただきます。

今後共、どうぞよろしくお願い致します。

養護看護師

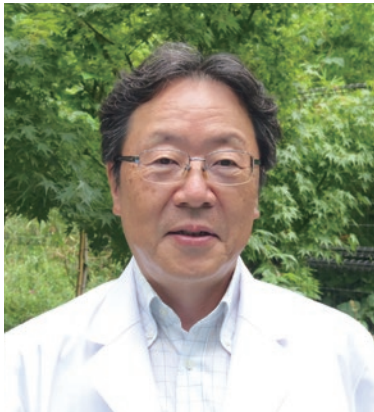
特養 介護職員 増尾 智史

2月1日より高槻荘から異動してまいりました、増尾 智史と申します。

ユニット型の特別養護老人ホームでの配属は初めてですが、ご利用者一人ひとりに寄り添い、安心して生活を送れるよう日々努めてまいりますので、宜しくお願いします。



永寿園とよなか診療所、活動の現状



永寿園とよなか診療所 井上敦雄

永寿園とよなかでは施設内に診療所があり、医療活動を行っています。2018年4月には常勤医師が配置されています。診療所は目立ちませんが施設建物1階北東奥にあります。常勤医師(内科)1名、非常勤精神科医師1名、特養担当看護師(常勤および非常勤)4名、養護担当看護師3名、事務員1名の陣容です。その業務は、1)施設利用者の健康管理、2)施設利用者の診療、3)外来診療(現在外来専任看護師が不在)、4)併設保育園の健診などが主なものです。

健康管理は毎年定期健康診断を行いその結果を説明しその後の生活指導を行います。新たに病気が見つかった方には精査加療のため専門医療機関へ紹介したり、あるいは当診療所で治療したりします。ご高齢者の場合施設入所時に慢性疾患を持っておられる方が多いのですが、当診療所での診療を希望された場合は、それまでかかれていた医療機関からの情報をもとに投薬治療を行います。当施設へ入所されると、生活のリズムが安定してストレスも少なくなるためか多くの方で高血圧や糖尿病が改善します。その場合は従来の薬を減量したり中止したりする必要があります。また、ご高齢の方は薬剤に対する反応が若い時とは異なり、過剰に反応したり副作用が出やすくなったりします。診察の時には介護情報や看護情報を参考に患者(利用者)の健康状態を把握し薬剤の調整を行います。病気の苦痛やまた一方で治療の負担もないようにし毎日が楽しく心地よく過ごせるように配慮して診療し、診察の時も楽しい会話ができるよう心がけています。



子ども達に 人気のメニューは

厨房では現在養護と特養、保育の調理を行っています。養護と特養はクックチルシステムという調理済の食材が届きます。盛付はもちろん、和え物や汁物は厨房で調理しております。ご入居者に人気のメニューはカニ玉! ご飯の上にかけて天津飯にする方も。

保育では毎日食材が届き、当日の朝に調理をします。また、週に1度手作りおやつを実施しております。子ども達に人気のメニューは写真にもあるメロンパンや蒸しパンです。

養護、特養ではそれぞれ食事のイベントを行う事もあります。写真の焼きそばはご入居者の前で焼かせて頂きました。皆様お代わりをされて喜んでおられました。

これからも様々なイベントや食事作りを行い、皆様に楽しんで頂きたいと思っております。



手作りメロンパン



焼きそば

夏の行事予定

屋上ビアガーデン



日時：7/26(金)19:00オープン

夜店祭り

日時：8/9(金)18:30～
玄関前広場にて開催

★「やぁにんじゃ太鼓」の皆様が
創作エイサーを
披露してくださいます。



伊丹花火大会観覧会

日時：8/24(土)
19:00より屋上開放



※花火大会が中止の場合は屋上開放いたしません。

東泉丘校区 福祉委員会の予定

おしゃべりカフェサロン『ことぶき』

7月	1日(月)	13:30～15:30
8月	5日(月)	13:30～15:30
9月	2日(月)	13:30～15:30
10月	7日(月)	13:30～15:30
	11月	なし
12月	2日(月)	13:30～15:30

子育てサロン『ももちゃん』

7月	9日(火)	10:00～11:30
	8月	なし
9月	10日(火)	10:00～11:30
10月	8日(火)	10:00～11:30
11月	12日(火)	10:00～11:30
12月	10日(火)	10:00～11:30

福祉なんでも相談

電話番号：06-6840-2112

毎月	第1月曜日	13:00～15:00
	第2火曜日	10:00～12:00
	第3月曜日	13:00～15:00

認知症サポーター養成講座の日程

令和元年度

- 第41回 令和元年 7月27日(土) 15:00～16:30
- 第42回 令和元年 9月27日(金) 15:00～16:30
- 第43回 令和元年 11月23日(土) 15:00～16:30
- 第44回 令和 2年 1月24日(金) 15:00～16:30
- 第45回 令和 2年 3月21日(土) 15:00～16:30

場所 永寿園とよなか 1階 地域交流室

苦情解決等に関する取り組みについて

意見、苦情に対して真摯に受け止め、
迅速な対応への取り組みを心掛けています。
今回の内容は下記の通りです。

苦情内容

地域の方より「お宅は南側の手すりに洗濯物をかけて干しているが、見た目が悪い。これまでにそういう内容の電話はかかってきてないのか?見た目が悪いから、手すりより中に干した方がいいのではないか。」とご連絡を頂いています。

今後の対応について

電話対応した職員はお話をお聞きし、「分かりました」とお伝えしています。実際に施設南側のベランダの手摺にタオルを掛けて数枚を干していました。各階にベランダ手摺より外側に洗濯物があれば、内側に入れて干すように伝達し対応いたしました。

開所より景観について「見た目が悪い」という内容でお電話を頂いたことは今回が初めてで、地域の方からのご意見を頂き勉強させて頂きました。

編集後記

本年度も始まりました。新たな広報委員で頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

永寿園とよなか広報委員会